

株式会社会計 第2問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 決算にあたり、当期純利益¥1,200,000を計上した。
2. 決算にあたり、当期純損失¥800,000を計上した。
3. 大阪物産(株)は、株主総会を開催して、剰余金の配当と処分を以下のように決定した。なお、当社の資本金は¥10,000,000、資本準備金は¥1,000,000、利益準備金の既積立額は¥500,000である。
利益準備金 ; 会社法が定める金額 配当金 ; ¥2,000,000 別途積立金 ; ¥800,000
4. 3.の配当金の全額を小切手を振り出して支払った。
5. 奈良金属(株)は、株主総会を開催して、剰余金の配当と処分を以下のように決定した。なお、当社の資本金は¥50,000,000、資本準備金は¥11,000,000、利益準備金の既積立額は¥1,400,000である。
利益準備金 ; 会社法が定める金額 配当金 ; ¥5,000,000 別途積立金 ; ¥1,000,000
6. 5.の配当金の全額を小切手を振り出して支払った。
7. 富山工業(株)は、株主総会を開催し、別途積立金¥2,000,000を取り崩して繰越利益剰余金の借方残高を補填した。
8. 株主総会の決議により、利益準備金¥300,000を取り崩し、繰越利益剰余金に振り替える。
9. 石川商事(株)は金沢物産(株)を吸収合併し、パーチェス法により受け入れ仕訳を行う。合併時の金沢物産(株)の資産の時価は¥85,000,000、負債の時価は¥50,000,000であった。合併にあたり、石川商事(株)は1株あたりの時価が¥50,000の株式を800株発行し、金沢物産(株)の株主に交付した。なお、増加する資本の全額を資本金として処理するものとする。また、受け入れる資産、負債については、便宜的に諸資産勘定、諸負債勘定を用いて仕訳すること。
10. 岩手商事(株)は盛岡物産(株)を吸収合併し、パーチェス法により受け入れ仕訳を行う。合併時の盛岡物産(株)の資産の時価は¥28,000,000、負債の時価は¥15,000,000であった。合併にあたり、岩手商事(株)は1株あたりの時価が¥20,000の株式を600株発行し、盛岡物産(株)の株主に交付した。なお、増加する資本のうち2分の1ずつを資本金と資本準備金とする。また、受け入れる資産、負債については、便宜的に諸資産勘定、諸負債勘定を用いて仕訳すること。

株式会社社会計 第2問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	損 益	1,200,000	繰越利益剰余金	1,200,000
2	繰越利益剰余金	800,000	損 益	800,000
3	繰越利益剰余金	3,000,000	利益準備金	200,000
			未払配当金	2,000,000
			別途積立金	800,000
4	未払配当金	2,000,000	当座預金	2,000,000
5	繰越利益剰余金	6,100,000	利益準備金	100,000
			未払配当金	5,000,000
			別途積立金	1,000,000
6	未払配当金	5,000,000	当座預金	5,000,000
7	別途積立金	2,000,000	繰越利益剰余金	2,000,000
8	利益準備金	300,000	繰越利益剰余金	300,000
9	諸 資 産 の れ ん	85,000,000 5,000,000	諸 負 債	50,000,000
			資 本 金	40,000,000
10	諸 資 産	28,000,000	諸 負 債	15,000,000
			資 本 金	6,000,000
			資 本 準 備 金	6,000,000
			負ののれん発生益	1,000,000

【解説】

3. 利益準備金；下記 ①¥200,000 < ②¥1,000,000 ∴①¥200,000
 ①配当金¥2,000,000×1/10=¥200,000
 ②資本金¥10,000,000×1/4－(資本準備金¥1,000,000+利益準備金¥500,000) = ¥1,000,000
5. 利益準備金；下記 ①¥500,000 > ②¥100,000 ∴②¥100,000
 ①配当金¥5,000,000×1/10=¥500,000
 ②資本金¥50,000,000×1/4－(資本準備金¥11,000,000+利益準備金¥1,400,000) = ¥100,000
9. 増加資本；¥50,000×800株=¥40,000,000
 のれん；¥40,000,000－(¥85,000,000－50,000,000) = ¥5,000,000
10. 増加資本；¥20,000×600株=¥12,000,000、 資本金；¥12,000,000÷2=¥6,000,000
 負ののれん発生益；(¥28,000,000－¥15,000,000)－¥12,000,000=¥1,000,000